



暑中お見舞い 申し上げます

二〇二二年七月

日本共産党鶴岡市議団



「個人の寄付で良い」回答した

市長選寄付不記載 百条委で皆川市長証人尋問

鶴岡市議会百条調査特別委員会（佐藤博幸委員長）の第11回会議が25日開かれ、皆川市長への証人尋問が公開で行われました。

皆川市長の答弁の一部を紹介します。

選挙資金は当初から自己資金で行う考え

「2017（平成29）年10月9日に、当時支援者であった藤島在住の男性から、現金100万円の寄付を受けました」

「その100万円は、翌日の10月10日に、会計責任者に渡した」

「当日の寄付者とのやり取りは、2022（令和2）年6月22日の、村上後援会長への寄付者からの手紙の中に、後援会の寄付なのか、個人への寄付なのかの

確認があり、個人の寄付で良いという回答があったと記載があり、やり取りはその通りだと思つ」

「選挙期間は、選挙運動に関する政治家個人への個人の寄付が認められていることを、インターネットで調べて知った」

「選挙運動費用収支報告書に、寄付として記載すべきところ、知識不足と忙しさの中で、これを失念し、誤った記載となった」

「選挙運動の費用は、当初から自分の自己資金で行う考えであった。受領した寄付は、自己資金の立て替えとして、選挙運動資金に充てたので、昨年12月23日に報告書の記載の訂正願を行った」

余剰金として返すことができると考えた

「寄付は、選挙運動費用の収支上、余剰金として返すことができる」と考え、昨年8月28日、寄付と同額の100万円を返金に行った。しかし、受け取りを拒否されたので、自宅に置いてきた」

「不記載の情報は、報道機関から、その1週間くらい前に、事務所にいる後援会関係者に知らせがあった」

「後援会関係者と話し合い、寄付を本人に返金すれば、寄付がなかったことにできると考えた。不記載への非難を回避したいと思つた」

「返金は、私と、私の妻、妻の母の銀行口座から用意したお金だ」

支援者「自己資金として使つたと、堂々と説明したらいいのではないか」

「昨年12月22日の報道の前日に、報道関係者から取材があり、その日に出納責任者と、記載しようと思つた。23日に訂正願を届けた」

「報道の前までは、返金すれば訂正までは必要ないと考えていたが、12月21日にそれは難しいと判断し、訂正が必要だと判断した」

「支援者から収支報告書に記載を促されたことはない。返金の日の8月28日に、本人の手紙で、自己資金として使つたということ、誰にも口外しないので、堂々と説明したらいいのではないかと書いてあったと記憶している」

「質問しようとして何回も質問繰り返す自公委員

「不記載を違法だと認識していたのではないかと、何度も繰り返して問い質していましたが、皆川市長は「違法という認識はなかったもの」と答えています」

「公職選挙法上、選挙運動費用収支報告書の記載と訂正は、いつでも可能で、訂正の期限の定めもなく、法的にはゆるやかな規定になっています」

「委員会では、この返金に関する記録の提出について、寄付者から皆川市長への複数の手紙と、村上後援会長への手紙の提出を求めることを決め、次回の証人尋問は、皆川市長の日程を確認して決定するつもりです」

ついでに、自公会派は、前回の寄付者の証人尋問で、「市長に訂正を求めた」という言質を得ようと思つたが叶わず、今回は市長の「不記載が違法だった」という言質を引き出そうと思つたが、出来ませんでした。

なぜ寄付になるのか説明がない証言をマスコミが取り上げ

なお、前回の寄付者への尋問で、市長からの返金について、「差し上げた金額が手元に戻ってきた。今は寄付として頂いたものと理解するようになっている」と答弁したことから、報道では「返金は寄付と理解」と大きく取り上げられました。

発言は、休憩をはさんで午後からの再開でなされたもので、返金がない証言を、マスコミが「公選法が禁止する寄付行為の可能性」として、大きく報道したものです。

委員会では、この返金に関する記録の提出について、寄付者から皆川市長への複数の手紙と、村上後援会長への手紙の提出を求めることを決め、次回の証人尋問は、皆川市長の日程を確認して決定するつもりです。

茅原北土地地区画整理事業 に都市計画公園2ヶ所設置

第1回都市計画審議会

今年度の第1回都市計画審議会（上木勝司会長）が25日開かれ、

協議では、現在行われている茅原北土地地区画整理事業に合わせ、同地区内に都市計画公園2ヶ所を設置するものです。

現在鶴岡地域にある55ヶ所の街区公園に、この度の2ヶ所が追加され、市所有の公園として地域と連携して、施設の適切な管理を行うとしています。

公園名称については公募により、「茅原あ

中高一貫校整備 現北・南高に増築工事

鼠ヶ関トンネル3分の1進む 未着手トンネル1本着手へ

日沿道新潟・山形県境建設促進大会

日本海沿岸東北自動車道（日沿道）の朝日まほろばICと、あつみ温泉IC間40・8キロの早期開通をめざす「第34回日本海沿岸東北自動車道 新潟・山形県境地区建設促進大会」が20日、鶴岡市温海ふれあいセンターで開かれ、日本共産党市議団も参加しました。

事業報告として、高野明・酒田河川国道事務所長らが、担当する区間の進捗状況について説明されました。現在、掘削中の鼠ヶ関トンネル（1242m）は、340mまで掘削が進み、1ヵ月で約60m進んでいること、未着手のトンネル3本のうち、今年度中に1本着手する計画などが紹介されました。



一方、秋田県境区間では、遊佐比子一遊佐鳥海区間の令和5年度供用予定をはじめ、8年度まで、象潟ICまで開通予定であることが報告さ

また審議会では、中高一貫校整備事業で、併設型中学校として利用する現在の鶴岡北高の増築工事に関して、給食の搬入・移動や、バリアフリー化を目的に使用するエレベーター

大山上池・下池の水質の変遷と浄化への取り組み

「ほとりあ」第1回里地里山学講座

自然学習交流館「ほとりあ」の、今年度第1回の里地里山学講座「大山上池・下池の水質の変遷と浄化への取り組み」が、同施設で開かれ、地元の菅井巖議員が参加・聴講しました。

長年にわたって同池

設備が設置されることから、建物高さの特例許可について説明があり、了承されました。補正として、同整備事業の鶴岡南校の改修・増築工事の概要も説明がありました。

水質の改善や解決方法として、底泥の浚渫なども考えられるが、コストが大きいこと、水生植物の刈取り（植生による吸収・水質浄化）が、有効との研究調査が報告されました。

課題解決として、池に繁茂しているヒシやハスなどの刈取りと有効利用、今後の持続的な活動などが述べられました。

参加者からは、「農業肥料などが高騰している。コンポストなどでの底泥の利用ができないものか」「ハス・レンコンの有効利用ができないか」など、水質浄化と循環型の有効利用への意見が出されました。

「ため池」が農業用水に利用されてきた中で、水の流入と排出関係を調査した結果、水の循環が他の池に比べて低いこと、渡り鳥の糞尿などによって、水質の濁りや富栄養化が進み、ヒシ

建築課入札結果（ ）内は予定価格

7月21日入札分
 ・温海温泉林業センター地下タンクFRPライニング工事（湯温海字湯之里88-7）（入札5業者）
 （有）冷熱設備今野 2,220,000円（2,670,000円）工期～10/28（落札率83.15%）
 ・市営美原住宅6号棟104号室、東部住宅2号棟102号室浴室改修工事（美原町17-43、鶴岡市朝暘町22-28）（入札2業者）
 中野興建（有） 3,320,000円（3,360,000円）工期～11/4（落札率98.81%）
 ・小真木原スケート場倉庫改修工事（小真木原町2番地）（入札4業者）
 加藤建設管工（株） 14,750,000円（14,900,000円）
 工期～10/31（落札率98.99%）

土木課入札結果（ ）内は予定価格

7月21日入札分
 ・市道七日町柳橋線（柳橋）旧橋撤去工事（本町二丁目・三丁目地内）（入札5業者うち3業者辞退）
 笠原建設工業（株） 53,700,000円（54,590,000円）
 工期～5/3/24（落札率98.37%）

下水道課入札結果（ ）内は予定価格

7月25日入札分
 ・鶴岡市公共下水道事業 汚水7号幹線改良工事（馬場町地内）（入札3業者）
 東北環境開発（株） 26,800,000円（27,260,000円）
 工期～12/23（落札率98.31%）

水道課入札結果（ ）内は予定価格

7月25日入札分
 ・三瀬地内径150耗・200耗送配水管更新工事（三瀬地内）（入札7業者うち1業者辞退）
 三和メイテック（株） 73,100,000円（74,610,000円）
 工期～5/3/31（落札率97.98%）